

鎌ヶ谷巧業 PRESENTS

第50回 千葉県U15中学生バスケットボール選手権大会

女子準決勝 戦評

〔女子準決勝〕

		1 3 - 1 6		
昭和学院中学校	6 1	1 8 - 5	5 4	翔凜中学校
		1 1 - 1 0		
(市川・浦安)		1 9 - 2 3		(木更津・袖ヶ浦・君津)

【評】

第1ピリオド，開始両者得点が決まらず両校互角の戦いを見せる。最初に得点したのは昭和学院。ディフェンスからリズムを作り正確に得点を決めていく。1 on 1，ジャンプシュートからのリバウンドと多様に攻めていく。対する翔凜は，# 0佐藤の3Pシュートから得点を重ね，3Pシュートを軸に攻め立てる。第1ピリオドの後半では，翔凜の# 6北見のドライブ，# 3 9高橋の3Pシュートが決まり1 3 - 1 6で終える。第2ピリオド，開始早々昭和がドライブから得点し逆転する。その後はお互いスピード感ある攻めが続く。昭和は# 4石井，# 6玉井のオフェンスリバウンドから確実に得点を重ねていった。対して，翔凜もジャンプシュートで攻めるが得点ならず苦しい状況が続く。第3ピリオド，昭和学院のパスカットから得点し，点差を広げる。翔凜はタイムアウトを取りリズムを立て直す。その後は翔凜が連続得点しお互い一步も引かない展開となった。第4ピリオド，翔凜は早い展開から攻撃を行い，開始2分で# 8 7池邊のバスケットカウントを含めた1 2得点。昭和はたまらずタイムアウトをとった。タイムアウトのあとはお互いに得点を重ね4 8 - 5 7で残り2分を迎えた。翔凜は厳しいディフェンスから昭和にシュートを打たせない素晴らしいディフェンスを見せたが点数は届かず昭和学院の勝利となった。翔凜の最後まであきらめず戦った選手たちに拍手を送りたい。

〔女子準決勝〕

		8 - 1 6		
浦安市立日の出中学校	4 6	1 8 - 9	4 2	市川市立第三中学校
		1 2 - 1 1		
(市川・浦安)		8 - 6		(市川・浦安)

【評】

第1Q，両チームハーフコートマンツーマンでスタート。市川三は# 4増田の積極的なドライブやスリーポイントから得点を重ねる。また，日の出のインサイドへのパスをチームディフェンスで防ごうとする。日の出は# 0新田，# 2藤野のスリーポイントを中心に得点し，8 - 1 6で1Qを終えた。第2Q，日の出# 1堀のドライブ，ミドルシュートから3連続得点し，市川三がタイムアウト。その後，市川三の# 6横元が得点し，流れを取り戻すかに見えたが，日の出の# 0新田，# 1堀が得点を重ね，日の出が試合開始後初めて得点をリードした。その後も# 1 2岡本，# 1 8の大矢のインサイドの合わせから得点を重ねる。一方，市川三も# 4増田，# 8坂田のドライブで果敢に攻めるも，2 6 - 2 5で日の出が1点リードし前半を終えた。第3Q，市川三の# 5前田，# 7南部の外角のシュート，日の出は# 0新田，# 1 2岡本，# 1堀の得点から一進一退の攻防が続く。市川三は# 4増田の鋭いドリブルからインサイドに合わせるも，なかなか得点につながらず，3 8 - 3 6で3Qを終えた。第4Q，日の出の# 0新田のドライブ，市川三の# 5前田のスリーポイント，# 8坂田のドライブで得点を重ねていく。ゲーム終盤，日の出が1点リードで日の出のタイムアウト後，# 2藤野のスリーポイントが決まり4点をリードする。その点差を守り切り，日の出が準決勝にコマを進めた。どの時間帯も粘り強くディフェンスし，最後まで戦った市川三の健闘を称えたい。

鎌ヶ谷巧業 PRESENTS

第50回 千葉県U15中学生バスケットボール選手権大会

男子準決勝 戦評

〔男子準決勝〕

		11 - 22		
松戸市立第五中学校	40	9 - 26	101	LEOVISTA
		15 - 29		
(松戸)		5 - 24		(クラブ)

【評】

松戸五中はハーフコートマンツーマン、LEOVISTAはオールコートマンツーマンでスタートした。第1Q、最初の得点は松戸五中#7宮田がピックを上手く使ってスコアした。互いに激しいディフェンスの中から、速い展開で1対1を仕掛ける時間帯が続く。松戸五中は#5流川の3Pなどで得点を重ねる。LEOVISTAは#92澤口の得点や、#28エルデネバトを起点としたピック&ロールなど多彩な攻撃でリードを広げ11-22で第1Qを終える。第2QもLEOVISTAの勢いは止まらず、#31武田のドライブや#3小野の3Pなどで得点を重ね、相手をつきはなす。対する松戸五中も#4藤井ドライブや#7宮田のスリーポイントで食い下がり、20-48でハーフタイムを迎える。第3Q、最初のスコアは松戸五中が速攻で得点を決める。果敢に松戸五中の#4藤井がリングに向かいフリースローを獲得する。LEOVISTAは、激しいDFから速攻やセットプレイ、この試合4本目となる#3小野のスリーポイントなどで確実に得点を決め、35-77で最終Qを迎える。第4Q、立ち上がりにはLEOVISTAは#16杉山が速攻から得点を決める。一方、松戸五中は#10村木や#14星のドライブから得点を重ねる。しかし、#1鈴木の連続得点や、メンバーが代わっても激しいディフェンスを続けたLEOVISTAが逃げ切り決勝へと駒を進めた。最後まであきらめずに攻め続けた松戸五中の選手に拍手を送りたい。

〔男子準決勝〕

		17 - 23		
市原市立姉崎東中学校	58	6 - 15	73	PBA
		18 - 17		
(市原)		17 - 18		(クラブ)

【評】

姉崎東中はハーフコート、PBAはオールコートマンツーマンでスタート。互いに激しいディフェンスから早い展開でオフェンスにつなげる。姉崎東はドライブからディフェンスをひきつけ、パスアウトから3Pを狙う。一方でPBAはディフェンスリバウンドからのロングパスや、早いボールプッシュから着実に得点した。PBAが#18佐藤のオフェンスリバウンドからのゴール下での得点、#13玉上のディフェンスからの速攻などで得点を伸ばす。姉崎東は、#4鈴木ボールプッシュやドライブからの得点についていく。第2Q、姉崎東はドライブからパスアウト、3Pを狙う。一方のPBAは#17と#18がリバウンドをとり、ゴール下で得点を重ねた。姉崎東も激しいディフェンスから得点を重ね、#7小林の3Pが決まり、4点差まで詰め寄る。このタイミングでPBAがタイムアウト。タイムアウトあけ、PBAが激しいディフェンスから速攻、#17小川、#18佐藤のオフェンスリバウンドで差を広げ、2Qが終了。第3Q、姉崎東は高めの位置からプレッシャーをかけ、PBAはオールコートマンツーマンで後半がスタート。姉崎東はドライブから3Pや合わせで得点を重ねる。PBAはディフェンスリバウンドから早い展開の攻撃で得点を決めていく。第4Q、PBAは、インサイドの#18佐藤にボールを集め、ヘルプに寄ってきたところをパスアウトからのアウトサイドシュートや逆サイドローポストへの合わせで点数を重ねる。姉崎東は#4鈴木ドライブを中心に食らいついていく。PBA#16安形がフロントコートでスティールし、姉崎東を突き放す。リバウンドを終始、制したPBAが決勝に駒を進めた。最後まで懸命に戦った姉崎東の選手達の健闘を称えたい。

鎌ヶ谷巧業 PRESENTS

第50回 千葉県U15中学生バスケットボール選手権大会

男女決勝 戦評

〔女子決勝〕

		19 - 6		
昭和学院中学校	58	13 - 8	37	浦安市立日の出中学校
		16 - 6		
(市川・浦安)		10 - 17		(市川・浦安)

【評】

昭和学院と日の出の同地区同士の決勝戦となった。昭和学院はオールコートマンツーマンDFでお互いに激しくコンタクトしていく。第1Q, LEOVISTA #18小沼の3ポイントシュートで突き放しにかかるも、PBA・A #18佐藤も落ち着いて攻め、ファールをもらい、バスケットカウントワンショットを沈める。しかしLEOVISTAの勢いは止まらず #92澤口のインターセプトからの速攻で18-6と突き放し、PBAタイムアウト。その後、PBAはOFリバウンドを粘るも29-19で1Q終了。第2Q, 両者さらにディフェンスのプレッシャーを強め、お互いにマッチアップをされる前に前へボールを飛ばし、速攻で得点を積み重ねるなど、脚がよく動く。しかし、両者一進一退となり、前半44-33で終了。第3Q, LEOVISTA #28エルデネバトがオフェンスリバウンドに奮起しファールをもらう。また #14金子から #0森田へのアシストで得点を重ね、50-34と離す。PBAは #15尾形の1対1で得点を積み上げていくも64-43で第3Q終了。第4Q, PBAのディフェンスがさらに激しくなり、流れがPBAに。すかさずLEOVISATAもタイムアウトをとっていく。PBAは一時12点差まで詰め寄るも、LEOVISTA #18小沼の落ち着いたゲームコントロールに周りも対応していき83-67でLEOVISTAが優勝を決めた。30年度からクラブチームが参戦し、クラブチームとして初めてLEOVISATAが優勝を飾った。最後まで諦めず詰め寄り、果敢に戦ったPBAの選手にも健闘を称えたい。

〔男子決勝〕

		29 - 19		
LEOVISTA	83	15 - 14	67	PBA・A
BASKETBALL		20 - 10		
CLUB		19 - 24		(クラブ)
(クラブ)				

【評】

クラブチーム枠から勝ち上がってきたチーム同士での決勝戦。両者オールコートマンツーマンDFでお互いに激しくコンタクトしていく。第1Q, LEOVISTA #18小沼の3ポイントシュートで突き放しにかかるも、PBA・A #18佐藤も落ち着いて攻め、ファールをもらい、バスケットカウントワンショットを沈める。しかしLEOVISTAの勢いは止まらず #92澤口のインターセプトからの速攻で18-6と突き放し、PBAタイムアウト。その後、PBAはOFリバウンドを粘るも29-19で1Q終了。第2Q, 両者さらにディフェンスのプレッシャーを強め、お互いにマッチアップをされる前に前へボールを飛ばし、速攻で得点を積み重ねるなど、脚がよく動く。しかし、両者一進一退となり、前半44-33で終了。第3Q, LEOVISTA #28エルデネバトがオフェンスリバウンドに奮起しファールをもらう。また #14金子から #0森田へのアシストで得点を重ね、50-34と離す。PBAは #15尾形の1対1で得点を積み上げていくも64-43で第3Q終了。第4Q, PBAのディフェンスがさらに激しくなり、流れがPBAに。すかさずLEOVISATAもタイムアウトをとっていく。PBAは一時12点差まで詰め寄るも、LEOVISTA #18小沼の落ち着いたゲームコントロールに周りも対応していき83-67でLEOVISTAが優勝を決めた。30年度からクラブチームが参戦し、クラブチームとして初めてLEOVISATAが優勝を飾った。最後まで諦めず詰め寄り、果敢に戦ったPBAの選手にも健闘を称えたい。